

高 1

英語 T	高校英文法における重要単元の一つであり、英語の理解には欠かすことができない「分詞」の習得を、解説と演習を通してはかります。分詞を根本から理解した上で、京都大・大阪大などの難関大学で出題される英文読解、英作文にも応用できる力を育成します。
英語 H	高校英文法における重要単元の一つであり、英語の理解には欠かすことができない「分詞」の習得を、解説と演習を通してはかります。分詞を根本から理解した上で、文法問題を解けるだけでなく、大学受験に向けて英作文、英文読解にも応用できる力を育成します。
英語 S	高校英文法における重要単元の一つであり、英語の理解には欠かすことができない「分詞」の習得を、解説と演習を通してはかります。分詞を根本から理解した上で、様々な形式の問題演習を行いながら、その解説を通して理解を深めましょう。
入試英文法	既習範囲について応用力を身につけたい方を対象とした講座です。「文型」「時制」「助動詞」「不定詞」「動名詞」の単元を大学入試水準の問題を用いて演習し、解説を通して応用力を身につけます。文法問題だけではなく、長文問題の演習も行います。
実践英文法	「文型」「時制」「不定詞」に焦点を当て、基本事項の確認、加えて様々な形式の問題の演習と解説を通して、実践的な知識の習得をはかります。夏期講習から入会される方を含めて、1年生の間に英文法の基礎を確立させたい方におすすめの講座です。
数学「2次関数の応用」 T/H/S	7月期までに学習した2次関数（グラフ、最大・最小など）の復習から始め、方程式や不等式への応用に発展させます。2次不等式や絶対不等式、2次方程式の解の配置などの問題を扱います。2次関数は高校数学の基礎となる重要単元です。この講座でマスターしましょう。
数学「整数」 T/H/S	センター試験でも選択問題として出題され、入試問題として頻出である「整数」について指導します。この講座では、整数についての基本事項の整理と入試頻出問題からハイレベルな問題まで、その解法だけでなく問題解決へ向けたアプローチ方法を講義します。
現代文・古文	現代文・古文を各2日扱います。長く難度が高い文章を目の前にして、どこが重要な箇所なのかを見抜くなど、「自力で読み解く」ためには何をすればいいのか。その読み方の基本的な方法論を伝授します。「何となく」「雰囲気」で読むという方法から脱却して、正しい国語の勉強法をマスターしましょう。

英検®対策

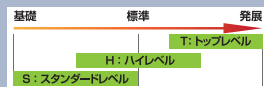
英検® 2級対策講座 LIVE+VOD	高校1、2年生の方に受けていただくことができる、英検2級の対策を行う講座です。英検の概要説明実施後、映像で高校生で学習する英文法の知識の習得・整理に加え、基礎的な英文読解の技術の習得やリスニングの対策を行います。 ※詳しくは別紙をご覧ください。
-------------------------------	---

※「英検」は、公益財団法人日本英語検定協会の登録商標です。

1講座は4回で、特に記述がない限り100分/回です。

高2

英語 T	重要文法事項を整理しながら、「なぜそのようになるのか」の視点から踏み込んだ指導を行います。抽象的で難度の高い入試英文の読解法やその背景について学びます。英作文では、「英作文を書くための英文法」をマスターすることを目標とし、添削指導を通して論理的で自然な英文の書き方を学びます。
英語 H	150分 大学入試頻出の「itを含む構文」と「挿入」について、難関大学入試問題の英文を用いて指導を行います。代名詞だけではなく、形式主語・形式目的語や強調構文などでも用いられるit、加えて難解な英文でよく見られる「挿入」についてここで整理しましょう。
英語 S	大学入試頻出の「itを含む構文」と「挿入」について、基礎をかためる指導を行います。代名詞だけではなく、形式主語・形式目的語や強調構文などでも用いられるit、加えて難解な英文でよく見られる「挿入」についてここで整理しましょう。
必修英文法（上級編）	英文法について応用力を身につけたい方対象の講座です。構文理解から英作文まで対応できるように、「文型」「準動詞」にしばり演習、解説を行い、英文法の応用の方法を学びます。基本事項の整理が行われていることを前提として授業を進めていきますので、事前に該当範囲を復習しておきましょう。
必修英文法（標準編）	英文法について基礎を整理したい方対象の講座です。文法問題に対応できるように、「文型」「準動詞」にしばり演習、解説を通して基礎の整理を行い、様々な形式の問題を演習します。文法の基礎が固まっていない方や、夏期講習から入会される方にもおすすめの講座です。
数学「漸化式・帰納法」 T/H/S	「数列」の中でも漸化式は特に苦手とする人が多いテーマです。この漸化式を得点源にするための講座です。また、すべての自然数 n に対してあることがらが成立することを証明するための「数学的帰納法」についても指導します。※受講基準：等差数列・等比数列・いろいろな数列の和を学習していること。
数学「入試数学攻略法」 (上級編) / (標準編)	これまでに学習した内容の、「解法」に焦点を当てた復習講座です。不等式、対称式、絶対値、文字定数分離をテーマに、基本事項から高度な問題への活用までを講義します。入試数学において、これらは単元の壁を越えた計算の基礎となり、得点に強く結びつきます。本講座で確かな力を身につけてください。
数学 「場合の数と確率演習」 (上級編) / (標準編)	場合の数・確率の復習がしたい方対象の講座です。この単元は、公式に当てはめて解くだけでは教科書レベルを超えることはできません。特に入試問題では公式をどのように応用するかが大切になります。この講座では数え方の基礎から復習を行い、入試頻出問題に対応する力を身につけます。
現代文 H	正確な知識にもとづく「正しい読み方」をさまざまな文章で演習します。特に評論文の演習の中で「対比構造」や「具体と抽象」の把握を中心に確認します。また、初の大学入学共通テストに向けた新傾向の問題への「これからの学習の仕方」についても指導します。
古文 H	「用言・助動詞」を中心に文法知識の定着と、「人物判定法」を軸とした読解の基本的な方法論を学びます。単語や文法の知識を、ただ単に単語テストや文法問題を解くための知識として終わらせず、読解問題に活かす知識としての定着を図ります。大学受験を見据え、一歩先の勉強を今から始めましょう。
物理 「光学」 H	「物理」を選択している方を対象とする講座です。波動の中の「レンズ」や「光の干渉」といった光学の単元を扱います。この講座では、単元の始めに原理の説明や公式について皆さんが使えるように説明した後、実際に問題演習を行うことで知識を自分のものにしていきます。一緒に頑張りましょう。
物理 「力学・波動演習」 H	「物理」を選択しており、力学（単振動以外）、波動（正弦波以外）を一通り学習している方を対象とする講座です。要点の確認、演習、ポイントを押さえた解説を行うので、知識に不安がある、公式や原理は知っているが得点に結びつかない、という方におすすめです。今までの復習と知識の鍛錬を行えます。
化学 「気体反応・飽和蒸気圧」 H	通常期で扱っていない「気体の性質」と「飽和蒸気圧」についての講座です。受験生が苦手とする分野のひとつであり、間違った方法で勉強しているとどれだけ問題を解いても得意にはなりません。高2のこの時期から正しい勉強法、問題へのアプローチの仕方を習得することは受験化学にとって非常に大きなアドバンテージです。ぜひ受講してください。
化学 「理論化学演習」 H	通常期で扱った「中和反応」「酸化還元反応」「電池」「電気分解」の各単元について、基本～標準レベルの入試問題を演習および解説する総合演習講座です。単に解き方を説明するのではなく、理論的背景を紹介しながら暗記に頼ることのない手法で解説していきます。



高3

英語 T 150分	トップレベルの英文を用い、構造分析、下線部和訳、マクロ的読解を指導します。抽象度の高い重要語の概念理解、論理的思考力の養成だけでなく、難語を含んだ読解法に至るまで様々なテーマと形式に対応できる力が身につきます。また、添削指導を通して、論理的で自然な英作文の方法も指導します。
英語 H	英文読解では、長文化傾向にある難関大学の入試問題に対応するために、素早く読んで内容を解釈する技術である「パラグラフリーディング」を指導します。英作文では、長い和文を英訳する際に必要となる「節の処理の仕方」について指導します。実戦的な読解力と減点されない解答作成能力を身につけます。
英語 S 1 (読解編) / (文法編)	読解編では、長文を読む技術である「パラグラフリーディング」の基礎の習得、加えて難読文への応用の方法の指導を行います。文法編では、センター試験を含めあらゆる大学入試に登場する整序英作文を学びます。出題率が高い事項を中心に指導し、入試に対応できる英語力を身につけます。
英語 S 2 (読解編) / (文法編)	読解編では長文を読む技術である「パラグラフリーディング」の基礎を指導し、実戦的な読解力向上を目指します。文法編では、センター試験を含めあらゆる大学入試に登場する整序英作文を、出題率が高い事項を中心に指導し、入試に対応できる英語力を身につけます。
いちから出直し英文法	高3生になってから通塾を始められた方を主な対象とした英文法の復習講座です。本講座の狙いは英語を理解する上で必要な知識を習得することです。英文法を基礎から講義し、その後頻出問題を演習することにより内容の定着をはかります。本講座を通して基礎を固め、大学入試突破を目指しましょう。
センター英語	センター試験の英語は独特の問題形式で、かなりの量の問題が出題されます。その攻略に向けて、予想問題を用いて演習・解説を行い、設問形式ごとの解法を指導します。また、制限時間内に解答し、高得点を取るための時間配分なども含めて、実戦的な攻略法も学べます。
数学 I A II B - T	数学 I A II B の全範囲について、京都大・大阪大レベルの問題演習および解説をする講座です。なぜそのような解法なら正解に結びつけられて、別の解法だと途中で解けなくなるかといった解法の見極め方、および初見の問題に対してどのようにアプローチをすれば正解に辿り着けるかを中心に解説します。
数学 I A II B - H / S	数学 I A II B の「確率」「数列」「ベクトル」といった入試頻出の重要単元について、入試問題演習を行い、基礎知識を確認して弱点補強をするともに、定番の解法に関してなぜそのような解法なら正確に結びつくのかといった解法の選択のポイントを解説します。
数学 III - T	理系数学の入試問題で配点が高く、合否への影響も大きい数学 III 「微積分」について、そのハイレベルな頻出重要問題を演習し、その解法を講義します。パターン演習ではなく、この分野における問題解決力と論理的思考力、確かな計算力を身につけ、入試実戦力を養います。
数学 III - H	理系数学の入試問題で配点が高く、合否への影響も大きい数学 III 「微積分」などについて、頻出重要問題を演習し、その解法を講義します。また、「微積分」独特の計算量にも対応できる学力を育成する、入試における得点力向上に直結する講座です。
数学 III 速習	数学 III は理系数学の入試問題で配点が高く、かつ練習量が得点を大きく左右する科目です。この夏で基本事項を完成させ、以降で入試問題演習に取り組みましょう。本講座では、微分法、積分法を中心に、数学 III の重要事項の復習と、発展的な内容の確認を行います。
数学 III 計算特訓	数学 III 速習を受講している方や数学 III の計算部分に不安のある方対象の講座です。数学 III では他の分野とは一線を画す質・量の計算力を要求されます。公式が多数登場し、計算方法もテクニカルで、複雑です。この講座を受講することで、必要な知識、技術を短期間で身につけられ、さらに計算を最後まで完遂できる力も身につけられます。
看護医療系数学 I A	数学 I A の内容から出題される看護医療系大学の入試問題に対応するための力を養う講座です。基本公式の確認から始め、入試頻出問題の演習を行うことでこれらの単元をマスターします。確かな知識と問題演習を繰り返すことで得点を取る力は身につきます。
センター数学 I A II B (上級編)	センター試験の形式に沿った問題の演習、解説を行います。計算力とスピードを必要とするセンター数学で高得点を取るために、面倒な計算を避けるための公式の活用法と流れを読み取る着眼点について詳しく解説します。センター数学で9割以上を目指す方が対象の講座です。
センター数学 I A II B (標準編)	センター試験の形式に沿った問題の演習、解説を行います。計算力とスピードを必要とするセンター数学で高得点を取るために、面倒な計算を避けるための公式の活用法と流れを読み取る着眼点について詳しく解説します。数学が苦手な方が対象の講座です。※数学 I A (2日間) のみの受講も可能です。
国公立大現代文	国公立大2次試験において記述式の現代文が必要な方対象の講座です。真に本文の内容を把握した、減点されない記述答案への脱皮を図るにはどうすればいいのかということを指導します。国公立大2次試験対策や難関私立大対策への重要なステップになります。
私立大現代文	私立大入試において現代文が必要な方対象の講座です。国語の答案作成に不慣れであることを前提に「7割を取る答案」を目指します。選択肢を吟味して確実に絞り込むテクニックは、文系志望者には必須です。マーク式問題への対応を中心に授業を行い、論述型問題にも合格点が取れる答案作りを指導します。

1講座は4回で、特に記述がない限り100分/回です。

センター現代文	センター試験の現代文の評論は満点（50点）を狙えます。本文を理解することはもちろんですが、設問の選択肢を吟味し、感覚ではなく論理的にどのように選択肢を絞り込んでいくのかを重点的に指導します。特に国公立大理系志望の方におすすめの講座です。
国公立大古文	古文読解の基礎となる文法力の育成に加えて、文の展開を論理的に類推しながら、全体の内容を把握する方法を講義します。また、センター試験や私大の客観問題の解法に加え、国公立大の2次試験や難関私立大で出題される論述式解釈問題の解法を指導します。
私立大古文	関関同立大や早稲田大、GMARCHを中心とする私立大入試の問題文を扱うことで、出題形式を知るとともに、古文読解の基礎となる単語力と文法力を整理・強化していきます。また、この基礎力を土台とした、長文の読解方法（人物把握法など）や客観問題の選択肢の絞り込み方を指導します。
センター古文・漢文	古文の読解においては文法力と単語力、漢文においては句法が大切ですが、選択肢を利用した本文の読解法など、センター試験の古文、漢文には独特の解法があります。その解法により高得点を目指す講座です。特に国公立大理系志望の方におすすめの講座です。
古典文法復習講座A (用言・助動詞編) VOD	文法知識の補強を図りたい方のための映像講座です。用言・助動詞を単元として、「ポイント講義→演習→解説」の形式で、各単元の基礎事項の理解を深め、選択式の文法問題から短文現代語訳問題まで解答できる実力を養います。文法問題の正答率を高めることは読解力の向上にも繋がります。「使える知識」として習得できます。
古典文法復習講座B (助詞・敬語編) VOD	文法知識の補強を図りたい方のための映像講座です。助詞・敬語を単元として、「ポイント講義→演習→解説」の形式で、各単元の基礎事項の理解を深め、文法問題を解答できるだけでなく、読解に活かす文法力を養います。受験生の力の差が如実に見える単元だからこそ、この講座で「使える知識」を習得しましょう。
古典文法復習講座C (識別・和歌の修辞法編) VOD	文法知識の補強を図りたい方のための映像講座です。「識別」では演習と解説を通じて文法の総整理を行い、「和歌の修辞法」では丸暗記に頼らず文法力を正しく使っていくの習得を図ります。国公立大や難関私立大を志望者はこの講座で、古文の得点力を身につけましょう。 ※基礎を定着させたい人は、用言・助動詞編、助詞・敬語編を受講してください。
物理「熱力学」T/H	レベルに応じた演習を行い、入試問題に対する実践力をつけていきます。この講座では熱力学を一通り学習し、問題においてどのような状態変化が起こっているかを読み解く力をつけます。Tクラスは京都大、大阪大など志望の方、Hクラスは神戸大や大阪市大、関関同立大志望の方向けになっています。
物理「電気」T/H	レベルに応じた演習を行い、入試問題に対する実践力をつけていきます。この講座では電場、電位からコンデンサーの性質まで取り扱います。電気特有の考え方をつかんでいきましょう。Tクラスは京都大、大阪大など志望の方、Hクラスは神戸大や大阪市大、関関同立大志望の方向けになっています。
化学 「反応速度と化学平衡」T	理論化学の最重要分野である反応速度、気相平衡、電離平衡、溶解度積を、講義および演習する授業です。難関国公立大学の2次試験では、反応速度や平衡の問題が勝敗を分ける大きなポイントになります。現役生においては演習が不足しがちな分野なので、夏期に間に苦学意識を克服しておきましょう。
化学 「無機化学(金属元素)」T	無機化学の分野のうち、主に金属元素の範囲を、講義および演習する授業です。アルカリ金属元素、アルカリ土類金属元素、両性元素、遷移元素、金属イオンの分離、錯イオンなど、各単元で学習する内容は理論化学の酸化還元反応の考え方にもつながりますので、理系の受験生は必ず受講して下さい。
化学「有機脂脂肪族」H	有機の脂脂肪族範囲の演習をメインに行う講座です。有機は入試で必ず出題されると言っても過言ではない分野です。ここで点数が取れなければ合格点に辿り着くことは困難です。演習を通してハイレベルな問題に対するアプローチの方法を伝授します。
化学「有機芳香族」H	有機の芳香族範囲の演習をメインに行う講座です。有機は入試で必ず出題されると言っても過言ではない分野です。ここで点数が取れなければ合格点に辿り着くことは困難です。演習を通してハイレベルな問題に対するアプローチの方法を伝授します。
日本史：明治史(前編)	大学入試で日本史を必要とするすべての方を対象とする講座です。明治新政府の樹立～自由民権運動を単元として講義を行います。列強の接近により開国を余儀なくされた日本が、植民地化の危機にあった状況をいかに乗り越えて、明治新政府を成立させていったのかを眺めていきます。 ※通年カリキュラムの一環です。後編とセット受講してください。
日本史：明治史(後編)	大学入試で日本史を必要とするすべての方を対象とする講座です。明治新政府がいわゆる「大日本帝国」として確立していく明治期後半を単元として講義を行います。これまでの「アジアの中の日本」ではなく、「世界の中の日本」という視点で歴史を眺めることで複合的な理解を促します。 ※通年カリキュラムの一環です。前編とセット受講してください。
日本史：文化史特講A (古代) VOD	大学入試で日本史を必要とするすべての方を対象とする映像講座です。古代文化(古墳、飛鳥、白鳳、天平、弘仁貞観、国風、院政期)を扱います。文化史用語は膨大な数がありますが、それでも文化「史」というからには「流れ」が必ずあります。政治・社会経済・対外関係など通史の流れをしっかりと関連付けることで文化史を「理解」して、武器にしましょう。
日本史：文化史特講B (中世～近世前半) VOD	大学入試で日本史を必要とするすべての方を対象とする映像講座です。中世～近世前半の文化(鎌倉、室町、安土桃山、寛永、元禄文化)を扱います。武家政権の誕生、ヨーロッパとの出会いなど、古代史とは異なる特徴をもつ時代だからこそ、通史の流れをしっかりと関連付けることで、文化「史」を理解するだけでなく、通史の知識の底上げも図ります。
日本史：文化史特講C (近世後半～近現代) VOD	大学入試で日本史を必要とするすべての方を対象とする映像講座です。近世後半～近現代の文化(化政、明治、大正、昭和、現代の文化)を扱います。現役生の多くが時間をかけないまま本番を迎えるこの単元を、得点源にすることは大きな武器になります。通史の流れをしっかりと関連付けることで文化「史」を理解するだけでなく、通史の知識の底上げも図ります。